

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370400869
事業所名	グループホーム清里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域行事として小学校で行われる餅つき会に招待があり、利用者10名程が職員と共に参加している。 保育園との交流の延長線に相撲の稽古の見学への招待があり、利用者と職員が名古屋場所を前にした関取の熱のこもった稽古を見てきた。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 偶数月の第2土曜日に運営推進会議を開いており、家族代表、自治会長、民生委員長、消防団長、いきいき支援センター所長等、そうそうたるメンバーが集まる。 救急救命講習を同時開催したり、地域の薬局から薬剤師を招いて専門的な勉強会（アレルギー、花粉症について）を開催する等、有意義な会議開催である。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） いきいき支援センターの所長が毎回運営推進会議に出席している。その関係で、いきいき支援センターを介して、管理者が「認知症の人と家族の会」や「地域ケア会議」にオブザーバーとして参加している。 生活保護の受給者が4名利用しており、区・保護係との連携を密にしている。市からは、生保受給者の受け入れ要請があったり、状況把握のための訪問がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の来訪時には、利用者の近況を報告するだけでなく、意見や要望を聞き取ってホーム運営に反映させている。 運営推進会議への参加は数名に限定されているが、出席した家族代表からは具体的な意見、要望、質問等が出ている。「延命と看取り」「薬外し」「他のグループホームとの合同勉強会」「熱中症」等々、活発な意見交換がある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎			